



FUKUOKA KAISEI GIRLS  
HIGH SCHOOL  
2025.1

新年のご挨拶  
校長 古賀 誠子

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと拝察いたします。皆様にとって、よき1年となりますようにと祈ります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年12月2日、創立記念宗教講演会が行われました。多くの保護者の皆様にもご出席いただきありがとうございました。「このとりのゆりかご」の立ち上げに大きく関わり、たくさんの赤ちゃんの命を救ってきた田尻由貴子先生と、「このとりのゆりかご」に初めて預けられた宮津航一さんとのコラボレーションによる講演会でした。「いのちを繋ぎ、愛を育む～ゆりかごから始まった第2の人生～」という演題で、前半は田尻先生、そして後半は宮津さんにご講話いただきました。

思いがけない妊娠に悩む女性の孤独に寄り添い、小さないのちを守るために慈恵病院にたどりついたお母さんたちに、「よくここまでたどりついたわね、ありがとう。」と言って声をかけ、赤ちゃんとお母さんのいのちを守り、母子の再出発を支援し続ける田尻先生。「ゆりかご」はない方がいいけれど、現実問題として「ゆりかご」が必要だと、語られました。

宮津さんは、自分が「ゆりかご」に預けられたこどもであるということ、2022年に告白され、以降、自身の「経験と思い」を生かして、「こども食堂」を運営し、お腹だけではなく心も満たす場所として知られています。また、「こども大学くまもと」に携わり、「いのち学」を中心に教えておられます。

「大切なのは、血のつながりではない。最後まで味方してくれるのが家族だ。」と言われました。そして、自分が「ゆりかご」に最初に預けられたものであると告白することによって、その後続く人が告白しやすくなり、堂々と胸を張って生きて欲しいと願っておられます。「麦の穂の中を切り開くように 先頭を歩くものは その穂先で自分の体や目がチクチクする しかし そうやって踏みしめられた跡に続いて歩く人々は 楽に進める」、使命感を持って、取り組みを行っている宮津さんの生き方を語っているかのような詩でした。「自分はいかかわりそうとは感じない。皆さんとは違う経験をしたが、その分、いろんな人とつながり、幸せを実感している。」と言われます。

シスター渡辺和子の言葉、「置かれた場所で咲きなさい」、宮津さんの大好きな言葉だそうです。「置かれた場所を理解して、悲観せずに前を見てすすんでいくのだ」と、生徒たちに熱く語られました。そして、後の生徒たちの感想を見ておられますと、この言葉がもっとも心に残ったようでした。

福岡海星女子学院は、創立以来、少人数教育を強調し、人と人を丁寧に繋ぐ教育を行ってまいりました。福岡海星には教科書以外の学びがたくさんあります。そして、その学びを通して、「新しい生き方」、「新しい自分」に出会うことができるのは、本校の魅力であると考えます。

今年も、本校の教育方針に、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## クリスマス記念ミサ

今年度のクリスマス記念ミサは、福岡・佐賀・熊本を管轄する福岡司教区の責任者 ヨゼフ・マリア・アベイヤ司教様をお招きして、司教様司式のミサに与ることのできる特別のお恵みをいただきました。



宗教委員会による「聖劇」(御絵:シスター入江)、「キャンドル・サービス」、「ミサ」、「シスター入江のお話」、「校長先生によるクリスマス・プレゼントと終業のおことば」を通して、生徒・保護者・教職員が一つとなり、救い主イエス・キリストのご降誕を喜び祝い、分かち合う素晴らしい機会となりました。



特にミサの閉祭の歌《ハレルヤ・コーラス》では、全校生徒で練習を重ね、今年のクリスマステーマである「Be One」(心を一にする)を体感するものとなりました。

海星らしく温かな雰囲気の中、心豊かなクリスマス記念ミサを過ごすことができました。



# 街頭募金

2024年12月14日(土)に福岡市の天神と大橋駅にて、本校創立以来続いているクリスマス助け合い街頭募金を行いました。この募金で集まった282,501円を、マリアの宣教者フランシスコ修道会を通してマダガスカル の病院および助産院等の医療施設に寄付しました。

今年度も暖かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

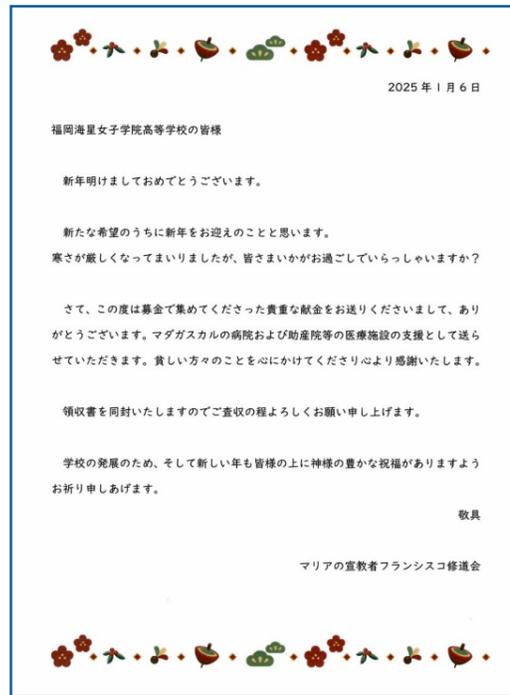


【大橋駅】



【天神】

## 【お礼のお手紙】



# ユネスコアートボランティア部 「このとりのゆりかご基金」への募金活動

12月2日(月)、創立61周年を記念して、「このとりのゆりかご」設立に関わられた田尻由貴子先生(現「子ども大学くまもと」学長)とゆりかご運用の初日に最初に預けられ、現在「子ども大学くまもと」理事長でいらっしゃる宮津 航一先生をお招きして、「いのちをつなぎ、愛を育む～ゆりかごから始まった第2の人生～」をテーマとして宗教講演会を行っていただきました。この講演会は、国連の「人権デー」に賛同した行事です。

本校はユネスコスクール(平和と持続可能な開発のための教育における模範校)への登録を目指しており、2023年12月にはキャンディデート校(国内審査通過校)に認定されました。

当日、本校ユネスコアートボランティア部は「このとりのゆりかご基金」への募金を呼びかけ、たくさんの支援をいただきました。一人でも多くのいのちを救うため、救われた子どもが幸せになってほしいとの想いを抱き、これからも支援を続けていきます。



# 共通テスト激励会

1月18日・19日に大学入学共通テストが行われました。

試験前日、海星では大学入学共通テストを受験するグローバル特進コースの生徒たちが激励会に出席しました。

校長先生から激励のお言葉をいただき、一人ひとりメダいを授与していただきました。

これまで積み重ねてきた努力と、応援していただいた周囲の方々への感謝の気持ちを胸に、全力で試験に臨んできました。

現在は特別編成授業第Ⅱ期に入り、志望校への受験準備を進めています。受験は団体戦、Be Oneの精神を心に留めて前進します!



メダイ(Médaille フランス語)はメダルのことです。身に付けることで神さまが共にいてくださることを思い起こすことができます。これは「不思議のメダイ」と呼ばれるメダイがきっかけで、世界中に広まりました。1830年、聖母マリアがフランスの修道女カタリナ・ラブレのもとに現れ、人びとの救いについて重大な預言や願いを伝え、このメダイの作製を命じて作られたのがはじまりです。当時このメダイを身に付け、聖母マリアに取り次ぎを願った人びとに多くの奇跡が起こりました。そのため、今でも多くの人がこの信心を大切に、メダイを身に付けています。

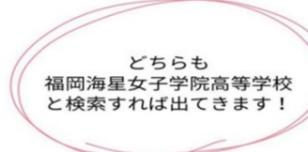
**応援よろしくお願いします!**

駅伝競走部が唐津と海の中道を疾走します

2月9日(日) 第65回唐津10マイルロードレース

2月22日(土) 第39回福岡クロスカントリー大会

## TikTok



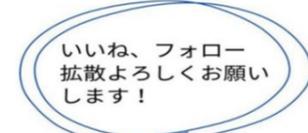
## instagram



## @f.\_kaisei



## @kaisei.\_1208



2/7	金	前期入試 (生徒自宅学習)
2/8	土	2学年保護者説明会
2/17 ~	月 ~	期末考査
2/20	木	
2/26	水	伝統を受け継ぐ式
2/27	木	静修会(3年)